

湖陵 第107号

コミュニティセンターだより

世帯数 2,065世帯
人口 4,965人
男 2,377人
女 2,588人
12月末日現在



令和6年1月19日 湖陵コミュニティセンター発行

湖陵コミュニティセンター総務部 編集
〒699-0812 出雲市湖陵町二部 1320
TEL: 0853(43)2480 FAX: 0853(43)3737

湖陵幼稚園
生活発表会

すくすく育て 湖陵っ子



いーもん

しじみん

ハマナス保育園

おたのしみ会

12月9日(土)、湖陵幼稚園とハマナス保育園では、子どもたちの発表会が開催され、入園してからの成長を保護者に見せていました。

幼稚園と保育園を

選択できる

湖陵には、湖陵幼稚園とハマナス保育園があり、家庭の状況に応じて選択することができます。

地域は園の応援団！

各園では、それぞれ特色ある保育活動を展開していますが、そこには地域の協力が欠かせません。

地域との関わりを通じて子どもたちは、家庭では経験できない様々なことを経験しています。

食育

- ・湖陵町高齢者クラブのおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に畑で野菜づくり
- ・J A女性部と一緒に味噌づくり
- ・畑の梅を収穫しての梅干しづくり
- ・近くの竹林で掘ったタケノコを使っておやつづくり

ふるさと探訪

町内にある神社に行つて話を聞いたり、秋には神事華を見に行ったり、

	幼稚園	保育園
条件	・ 出雲市に住民登録している3、4、5歳児	・ 出雲市に住民登録している乳幼児 ・ 就労等により保護者が保育を必要とする事由がある ・ 産後8週を経過している
保育時間	・ 通常 8時30分～14時30分 ・ 一時預かり保育(希望者) 7時30分～8時30分 14時30分～18時30分 夏休み、冬休み、春休み期間	・ 利用時間については保育標準時間、保育短時間がある
経費	・ 給食費、教材費、保護者会費、一時預かり保育料(但し就労等保育を必要とする事由があれば無償) ※保育料は無償	・ 3歳未満児の場合の保育料(3才児以上は無償) ・ 給食費、保護者会費、延長及び一時預かり保育料等

一覧表は概要です。詳細は下記に確認してください。

- 問合せ**
- 市役所 保育幼稚園課 (☎21-6964)
 - 湖陵幼稚園 (☎43-0466)
 - ハマナス保育園 (☎43-2621)

湖陵の特産品のシジミ取りや芋ほり体験をしたりと、湖陵の良いところ巡りを実践しています。

小学生になっても

両園の近くには小学校があり、放課後のサポート体制もあります。

児童クラブ

幼稚園敷地内に併設して児童クラブがあります。1～6年生が対象です(有料)。なお、児童クラブの受入可能な児童数を超える申し込みがあった場合は、1～3年生を優先します。

放課後子ども教室

毎週月曜日の放課後には小学校体育館を会場に、1～6年生を対象にした子ども教室を開催。みんなで一緒に宿題した後ゲーム形式で遊んだり、季節の行事を取り入れたお楽しみ教室をしたりと、交流活動をしています。申し込み時に、年間保険料、行事の内容によって負担あり。



12月には高齢者クラブとの交流でサンタさんも登場

湖陵地域で子育てを！

このように、湖陵では出生からの大変な時期の子育てをサポートする活動や施設が充実しています。子育て世代の心配事が減って地域が元気になると良いですね。

おまけ
子育て特集を組む今号を応援してくれるかのように…

特別天然記念物

コウノトリが湖陵にきた!!

11/27

R3年にも一度、後谷に来たことがありますが、今回は、西三郡公民館付近の田んぼに三羽降り立ち、田んぼや水路で餌をついばんでいます。成鳥は体長1m以上で、羽を広げると両翼で2mにもなるそうです。



湖陵にたくさんのおかちゃんを運んでくれるといいなあと思いました。

充実

湖陵の子育て支援

湖陵町も少子高齢化の波にさらされていきます。

世帯数は2,000世帯以上あり市内でも中規模以上ですが、人口は5,000人を割り込み4,000人台になりました（R5・6月末以降、市の統計）。

人口減少も、年間50人程度から令和5年は約70人となっています。

そのほとんどが、65歳以下。65歳以上はほぼ横ばいのため、高齢化率4割に近づいています。

出生者数は、年間（1月～12月）40人弱だったのが、令和になってからは平均20人が現状です。

一方で、全国的に子育て環境の充実が図られています。そこで、今号は湖陵での子育て環境を特集しました。

身近な応援団

あかちゃん・お父さん・

お母さんに心強い味方！

あかちゃん（新生児）訪問

子育てが始まると、いろいろな疑問や不安が出てきます。

出雲市では子どもが生まれた家庭を対象に、保健師（又は助産師）が家庭訪問をします。あかちゃん的身

体測定をしたり健康状態をみたり、お母さん、お父さんには授乳や沐浴の仕方、育児への不安等の相談に応じます。湖陵では、湖陵行政センターの保健師が訪問します。

あかちゃん声かけ訪問

出雲市では3～4か月頃、市から委嘱を受けたあかちゃん声かけ訪問員（主任児童委員、子育てサポーター）が家庭訪問をします。湖陵には6名の訪問員があり、同じ地域に住む身近な存在として、話を聴いたり地域の子育て情報を伝えています。

育児で気になることを 気軽に相談

毎月開かれる乳幼児相談

乳幼児のいる家庭を対象にした相談日を湖陵コミュニティセンターを会場に毎月開催しています。会場には保健師、栄養士、助産師、歯科衛生士等のスタッフがおり、身体測定に加え、離乳食をはじめ様々な育児相談に応じています。

佐田、多伎、湖陵の生後2か月児と7か月児には案内をしますが、希望者はどなたでも参加できます。育児に関わるおじいちゃんやおばあちゃんたちも、また里帰り出産で、実家で子育て中の方も参加できます。

幼稚園・保育園に 入園前に気軽に交流

子育てサークル

子どもにとって、大きく環境が変わる幼稚園や保育園への入園。保護者の方の不安もあるでしょう。

そこで、湖陵では0歳からの交流の場としてサークル活動をしています。家庭で主体的に育児に関わっている人同士が気軽に話をしたり相談できる場もあります。子ども同士やみんなで活動したり、子育ての情報交換ができ、気分転換になるかも。

子育てサロン「アップルひろば」

会場 ハマナス保育園

開催日 火曜日と木曜日午前

内容 ・季節ごとの製作あそび

- ・好きなおもちゃで遊ぶ
- ・外部講師による音楽あそびや絵本の読みきかせ

・保健師による身体測定や健康相談、育児相談

・誕生会や季節の行事

参加費 無料（行事内容により負担あり）

申込み 不要

「アップルひろば」では
来訪相談・電話相談も
受付けています
月曜日～金曜日 10時～16時
子育てに関するご相談に保育士が応じます。

子育てサークル「ピーターパン」

会場 湖陵幼稚園

開催日 年間5回程度 午前

内容 幼稚園の七夕会や、運動会、芋ほりやひな祭り等季節の行事に参加

参加費 100円

申込先 湖陵幼稚園

*申し込み書は幼稚園、コミュニティセンター、行政センターにあります。



アップルひろばの様子

コロナを吹き飛ばせ!

元気をもらった

文化講演会

今年度は、過去2回この文化講演会に来演した女性津軽三味線ユニット「来世楽」の二人。重厚な黒田節の唄で始まり、津軽三味線の力強いバチさばきに圧倒され、関西弁の話芸に笑い、時には誰もが口ずさめる歌を会場みんなで声をだして歌うなど、あっとい間の90分。参加した約百人の観客は、笑顔で会場を後にしました。



客席に降りての観客サービス



民謡の練習にピアノ(?)も使っていたとか

2カ月に二度のお待ちかね

コミセンカフェ



今年度4回目のコミセンカフェ。来館者からは「毎月でも」との意見をいただきました。見をいただきながら、残すところ、3月25日のみとなりました。毎回用意している50席がほど良くうまっています。

テーマは「地域づくり」



コミセン運営委員や専門部員の研修を兼ねて開催。今季初の寒気がやってきたこの日、一般参加を含め34人が参集しました。参加者は5グループに分かれ、始めに地域づくりを実践している安来市比田地区のビデオ映像を視聴し、その後、視聴した感想や湖陵の課題について語り合いました。映像を見た参加者は、比田地区の小学生からその親世代、高齢者に至る住民誰もが熱い思いをもって地域づくりに関わっていると感じました。併せて語り合った湖陵の課題では、地域活動

年末の恒例事業も大人気!

ミニ門松づくり



水やりなど長持ちさせるコツもアドバイス

講師は玉木園芸の和田守 勉さん。縁起物の松、竹、葉牡丹を定番にして、季節の花を寄せ植え。18人が指導を受けました。リピーターも多いこの事業では、飾り付ける小物を毎年変えてもらっています。

そば打ち体験教室



講師は古志そば同好会の山根 勉さん。小学生親子や10代の学生から80代まで、幅広い年齢層で20名が参加。各グループで協力し合って打ちますが、今年度は4年ぶりの試食会つき。この教室では、



薬味にとダイコンや長芋の差し入れも

打ち方だけでなく、そばのゆで方も指導しています。各自が打ったそばを200gずつ提供してもらい、割子と釜揚げにして打ち立てそばを堪能しました。

編集後記

令和六年の新春号だが、新年早々ともないニュースで正月気分も吹き飛んだ。元旦夕刻、能登半島沖震度7の大地震と大津波警報。孤立集落も多く、被害の全容も未だ見えない。この震災に関連して、翌2日には日航機と海保機が羽田空港で衝突し、5名の海保機員が犠牲となる痛ましい事故が起きた。日航機の乗客乗員全員が無事だったことは、不幸中の幸いか。日航の避難訓練のためものと言えなくもない。被災地の1日も早い復興を願うとともに、今年1年がこれ以上の災害の無い1年であれば願うばかりだ。そして、こんな年だからこそ、防災訓練があれば積極的に参加しようと思った。(N・A記)



各グループの発表を熱心に聞く参加者